### 合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月: 平成28年11月

1. 対象事業	高砂市高砂処理区合流式下水道緊急改善事業	
2. 実施主体名称	高砂市	
3. 計画期間	平成21年度~平成25年度	
. I Life Health N. M. Li Li Ne		

#### 4. 対象事業の進捗状況

- 以下の内容について、緊急改善計画どおりに対策を実施した。
  - (1)公衆衛生上の安全確保(未処理放流水の放流回数を半減させること)
  - ・雨水滞水池の整備(既存の分流系水処理施設における反応タンク1池と最終沈殿池1池を雨水滞水池に改造)
  - ・沈殿池の整備(既存の合流系水処理施設における最初沈殿池の嵩上げ)
  - ・消毒施設の整備(簡易処理用次亜塩素注入ポンプの設置)

## 5. 目標の達成状況と見通し

### 【目標】

- ①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並みの汚濁負荷量とすること):達成済み 現況において汚濁負荷量が分流式下水道以下であるため、目標を達成している。
- ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流水の放流回数を半減させること): 未達成 放流回数の目標値:19回/年以下(対策前及び現況値:38回/年)
- ③夾雑物の削減(全ての雨水吐で夾雑物の流出を極力防止すること): 達成済み 雨水吐が浄化センターまでの間になく、浄化センターに全量流入した際に、スクリーンにて夾雑物は除去されるため、 目標を達成している。

#### 【目標に対する達成状況】

区分	平成23年度 (計画変更)	平成25年度末 (緊急改善目標年度)	平成28年度 (事後評価、平成26年度 及び平成27年度実績)
①汚濁負荷量の削減	100%	100%	100%
②公衆衛生上の安全確保	0%	100%	100%
③夾雑物の削減	100%	100%	100%

②公衆衛生上の安全確保(未処理放流水の放流回数を半減させること):達成済み

平成25年度に雨水滞水池の整備等を行った結果、目標値19回/年に対し、対策後の平成26年度の実績値は9回/年、 平成27年度の実績値は15回/年であり、目標を達成している。

## 6. 対象事業の整備効果の発現状況等

未処理放流水の放流回数について、高砂浄化センターのポンプ施設の運転記録から集計を行い、目標値19回/年に対し、 対策後の平成26年度の実績値は9回/年、平成27年度の実績値は15回/年になり、目標が達成されている状況を確認した。

# 7. 事業の効率化に関する取り組み状況

未処理放流水の放流回数の半減に必要な雨水滞水池、沈殿池の整備について、既存施設を有効活用することにより事業の効率化に取り組んだ。

# 8. 今後の方針

施設の適切な改築及び維持管理に努め、継続してデータの収集、分析を行い、目標達成状況を確認していく。 合流式下水道の改善に係る取り組み内容及び結果については、ホームページ等により、住民の視点を重視した内容として、 継続して情報発信を図っていく。

また、ホームページや広報等を通じて、住民の皆様の協力を得ながら、雨水貯留施設、雨水浸透施設の普及に努めていく。